



ラグビー観戦雑感

一般財団法人地域社会ライフプラン協会 岡山三治

私

は、若かりし頃は白球を追いかける野球少年で、長嶋選手に熱烈な憧れを抱くプロ野球ファンの人でした。

現在の私は緊迫感の連続するラグビーの試合を観るのが好きで、度々競技場にも足を運びます。そして、どちらかと言えば社会人チームの試合よりも高校、大学生チームの試合観戦を好みます。

主力メンバーの卒業で、毎年新チーム編成を繰り返す学生チームは、戦力に大差がつきにくくハラハラドキドキの連続で、新入生等の台頭を見るのも大きな楽しみの一つになっているからでしょう。

力が拮抗しているラグビーの試合は、楯円球特有の不規則バウンドによるラッキー・アンラッキー、試合当日の風向きと強さ、ハイバント戦における太陽光線の当たり方等で想定外のことが起こる場面も多くスリリングです。それでも、積み上げてきたチーム力に差がある場合は、試合当日の色々な諸条件やラッキー・アンラッキーがあったとしても、最終的には番狂わせは起こりにくいのではないかと感じています。

このことは、他の色々なスポーツや、私達の人生においても言えることかもしれません。

私の応援する学生ラグビー界にも最近少し変化が起きてきています。画一的な指導法、練習法等から脱却しきれないチームを尻目に、食事、栄養面やトレーニング面などにおいて科学的分析、科学的指導法を強化し、チームワークの醸成に工夫をこらし、単に補強方針の違いや、補強の成果だけでは片付けられない強さを誇るチームが高校、大学において出現してきています。かつての強豪校も時代にマッチしなくなっ



た経験則とか、伝統とかにしがみついでいくだけでは、どんどん新しい力に乗り越えられていってしまうということなのでしょう。

私は定年退職後、協会です仕事をしており、ライフプランについて学ぶ立場でもあります。定年退職は、これまでの自分や家庭生活を見直す人生の大きな転機ですと声高に言いながら、片方では旧態依然とした生活習慣、金銭感覚を引きずっている頑迷な自分がいます。

謙虚な姿勢で、生活の修正点について周りの客観的視点の力も借りて確認し、アドバイスも受け入れ、これからの自分とわが家の生活をしっかりとプランニングし、実行していかなければ、明るい退職後人生に繋がらないことは理解しているのですが……言うは易く、私には相当の強い気持ちと持続力が必要なようです。

これからも私は多分、好きなラグビー観戦を寒空の中でも続けていくと思います。

ひいきにしているチームの再生と、少々の不規則バウンドにも対応可能な己の人生の再構築のどちらが先に軌道にのるか、人生の息抜きと楽しみを織り交ぜながら、ラグビーと自分の足もとをしっかりと見ていきたいと思っています。